



視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらの代表 松本緑が感じる最近の出来事を「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



『かして』『いいよ』ゆずるスキルと不登校

不登校になっていく発達障がいのお子さんたちはコミュニケーションシヨンスキルに困難を抱えていることが少なくありません。その兆しは保育園幼稚園時代の未就学児の段階に既に見ることが出来ます。他者の認知の度合い、視野の狭さ、環境への抵抗の高さ等により一人の世界で遊ぶ事が多く、集団遊びへの興味関心は余り示しません。特性により積極的に他者と関わる機会が少ないために集団行動に必要なスキルを体得するのは容易ではありません。

この保育園でも物を取り合って泣いている園児の姿はそこかしこで当たり前に見られます。ブランコを独占したり三輪車を独占していれば、『せんせい！○○ちゃんちつともかわってくれない!!』と訴えられてしまいます。『1、2、3、4、10からわって』と耳元でかわってコールが歌われてしまいます。こうして子どもたちは人には譲らなければならぬことを学んでいきます。

しかしながら発達障がいのことも私たちの心の発達段階はまだルールを受け止められる段階にはなく一歩前の乳幼児の発達段階にあります。乳幼児期の発達段階とは一対一の落ち着いた関係性の中で育てる時期です。おもちゃは共有するというより一人でゆつくり味わう段階です。時間も制約されることなく好きなように思いのまま過ごして良い時です。

スキルの習得の遅れは小学生になれば、先生の話を聞かない、自分の好きな事ばかり一方的に話してしまいお友だちの話を聞こうとしない、授業中にも人の話をさえぎり勝手気ままに発言してしまうという事態に発展してきます。こうして物を共有すること、ゆずるというスキルの未発達により他者との関係性に溝ができてしまいます。

人の話を聞くとは自分の時間を相手にゆずるということです。人の話を聞くためには自分の興味を少し横に置いておいて相手の興味関心事に自分の意識を譲る必要があります。

この『ゆずるスキル』の未発達は年齢が増すほどにまわりから厳しい視線が注がれることとなります。自分勝手な子、

わがまま、自己中だと批判を受けます。集団ルールを強要されることに耐え切れず不登校になっていく子、周りの子どもたちからのブライキングに居場所を失い不登校になる子もいます。

小学校中学年から高学年時代には友達の輪の中に居場所を見つけれず自信を無くしかけている表情の子どもたちが目立ちます。思春期になると自信を無くし切ってしまう他者を恐れる余り過剰に自分を抑え、ゆずるばかりになって疲れ果てていく姿をよく目にします。ゆずりの意識がなさ過ぎてもあり過ぎて問題となります。

ゆずりを強要すれば本人のストレスは増し怒りや反抗に発展します。特に幼い頃は譲りのスキルをスモールステップで教えることが大切です。言葉の発達や理解の発達に合わせて図解や丁寧な説明をその場その場でしてあげることが大切です。『ダメでしょ』で終るのでなく、どうすればよいのか具体的な望ましい行動を教える必要があります。

ゆずるとは相手の気持ちや立場を理解できるから可能になることです。目に見えない他者の心情理解を推測することが難しい子どもたちにとっては非常に高度なスキルです。『かして』『いいよ』このおよそ5歳の頃に身に付けていく社会性スキルの未習得が不登校の要因に影を落としているわけです。心の発達段階を無視することなく、丁寧にスキルを育てていきたいものです。

指導者の心得

興味関心の偏りや視野の狭さから、しばしば自分勝手、わがままに見えます。

STEP 1 周りに人がいることを
気づかせる

STEP 2 周りの人の言動や気持ちを
意識できているか
都度確認する

STEP 3 誤解や解釈のズレを
具体的に伝え理解につなげる

小さな誤解や解釈のズレの放置は互いの不信感を生み、いじめ、無視等を誘発します。

新フラワー校初のティーチャープログラムを開催します!

12月18日(水) 18:30~20:00

【場所】新フラワー校(〒669-1531兵庫県三田市天神2-11-6) 【対象】保育園幼稚園小学校中学校の先生
【参加費】1,000円(税別) 【お申し込み】コールセンターからお願いします

お問い合わせ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間: 平日 / 土曜 9:00~18:00]

日々の指導風景はさくらこどもセンターHP内ブログ「さくら日記」(<https://ameblo.jp/2503sakura/>)に掲載しております。ぜひご覧ください。



INFORMATION



「実験あそび」では、絵具を使った実験をしました。
紙を閉じて、開いてみると、綺麗な模様が出てきました！



グループ学習の最後には、毎回ゲームをします。
楽しくゲームをしながら、ルールや順番を守ること、
負けても怒らないことなどを学んでいます。



エリクソンキャンプでも聴かせてくれた
素敵なピアノ演奏。
綺麗で純真な心が音色にあらわれていて
本当に感動します♪



好評だった、
【エリクソン校の日常①】です♪



神戸北野校ですが、さくらに通うお子さんの担任の先生も
見学にお越しください、さくらと学校が連携して、
お子さんの成長をサポートしていきます！



好評だった、
【エリクソン校の日常②】です♪



ケイマナスクールに入ったばかりのこどもたちは
なかなか上まで登ることは難しく、数年経つと、筋力がつき
全身を上手に使って登っています。



10月の活動報告

ACTIVITIES IN OCTOBER

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から
10月の活動をピックアップしました。



TEACCH課題では、3才のお子さんから中学生まで
一人ひとりに合ったレベルで進んでいきます。
指の巧緻性、目と手の協調力、
根気よく取り組む力を高めます。



色や形を分類する練習。



空間認知力、模倣力を高める課題。



さくらっ子クラブのIT学習では、言葉を打ち込み印刷をして、
紙に貼り付けピング大会をしました！



11/1からスタートする新フラワー校の紹介をします！
エントランスまわりです♪



TEACCH、ビジョントレーニング、
SSTなどのお勉強をするスペース♪



先生たちのお部屋♪

> 詳しい指導内容や毎日の様子など、ホームページをご覧ください。

さくらこどもセンター

検索